

進んで活動する姿

続けて最後までする姿

目的・目標を持って活動する姿

友だちと学び合う姿

深く考える姿

実践事例 小学部／教科別の指導:算数**『自分で作った教具を使って深く考え、〇時の範囲を調べたり、〇時45～59分の時刻を読んだりしよう』****1. 生徒の実態と望む姿**

- ・小学部5年生男子
- ・学校生活の中で、朝の会や授業の開始時刻を示す時計を見て、まわりの友だちに「時間で一す」という姿が見られる
- ・〇時45分を示す時計の時刻を読むときに、「□じ(□=文字盤上の〇の次の数字)よんじゅうごふん」と言う
そこで本題材では以下の望む姿を設定した
→・〇時45分～59分を示す時計の時刻を読むとき、短針が示す〇時の範囲や、まだ□時(□=文字盤上の〇の次の数字)になっていないことがわかり、時刻を正確に読めるようになってほしい

2. 教材の概要 教材:『お助けゲーム』

- ・時刻を読む必要性を感じられるように、好きなキャラクターにバスに乗る時刻を読んで教えるとお礼を言われ、問題を全て解いたら好きなキャラクターがゴールにたどり着く仕組み
- ・「△分」の数字が小さい数字から大きい数字になるように問題配列をすることで、〇時を示す範囲を段階的に学習することができるに加え、実際の生活場面における「時間は進む」という時間的な感覚を配慮的に指導することができる

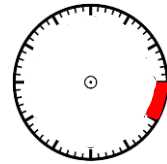
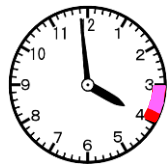
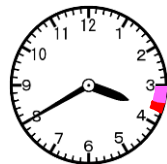
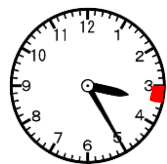
3. 授業のポイント**ポイント1** 具体的操作を通して短針が示す〇時の範囲に目を向け、〇時の範囲を段階的に学習しながら自分で教具を作成するための問題配列と教具の工夫**【段階的に学習し、自分で活用するための教具を作るためにはどうしたらいいかな?】**

- ・模擬時計を操作しながら時刻を作って読む活動を通して、〇時の範囲を調べる
- ・自分で調べた〇時の範囲に色を塗り、自分で教具を作っていく
- ・〇時△分の△の数字を少ない数字から徐々に大きい数字にすることで、〇時の範囲を段階的に学習できる

問題:3時25分

問題:3時40分

問題:3時40分



模擬時計を操作して、3時の範囲を調べる

短針が示す3時の範囲を確認して、文字盤に貼りつけた透明のシートに色を塗る

△分の数字が徐々に大きくなることで、色を塗った短針が示す3時の範囲が増えていく

3時の範囲を全て確認し、自分で活用する教具が完成

授業構想チェックシート 内容チェック 教具について⑤ 学習活動について②③ 意欲チェック 教具について⑦⑩⑪⑬

ポイント2 学習した内容の理解をより深めたり、定着させたりするための教具の使い方と働きかけの工夫**【学習したことの定着を図り、日常生活で活かすためにはどうしたらいいかな?】**

- ・学習していることの意味を確実に理解できるように、問題を解いた後に答えを導き出した理由について問う
- ・理由を説明するために必要な部分に目が向くように、教具を指さして、指を時計の進む向きに対して動かして働きかける
- ・答えを導き出した理由を念頭操作だけで考えられるように、学習の高まりに応じて教具を外し、具体的操作から念頭操作に移行する

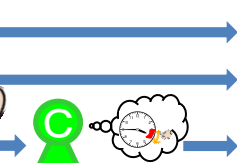
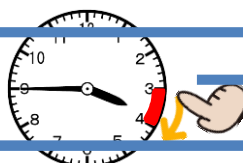
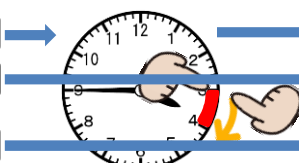
問いを聞く

具体的操作

念頭操作

理由を説明する

なぜ〇時なの?

①
②
③

短い針がまだ〇と□の間だから!

教師と一緒に指さしながら

自分で指さしながら

頭でイメージしながら

授業構想チェックシート 内容チェック 働きかけについて①②③⑤ 意欲チェック 教具について ⑦⑧⑨⑩